

令和4年度 学校評価アンケート結果

今年度3学期に実施した学校評価アンケートの結果をお知らせします。学校の取り組みに対する評価を比較しやすくするために、質問内容は、児童・保護者で同じです。また、教職員による振り返りで、児童・保護者への質問と同じ内容の項目があった場合についても、結果を掲載しました。

数字は、あてはまる：4点、どちらかといえばあてはまる：3点、どちらかといえばあてはまらない：2点、あてはまらない：1点、としたときの平均値です。4に近いほどよく、1に近いほど改善を要するものと捉えます。

質問項目 (丸文字：児童、明朝：保護者、斜体：教職員)	児童	保護者	教職員
① 学校の授業内容はよくわかりましたか？ 子どもたちは、学校の授業の内容をよく理解している。	3.41	3.25	
② 学校生活で思いやりや協力の気持ちをもって、仲良く過ごすことができましたか？ 子どもたちは、学校の教育活動で思いやりや協力の気持ちをもって、仲良く過ごしている。 <i>道徳教育を的確に行い、児童の道徳的実践力を育てている。</i>	3.61	3.41	3.19
③ 学校の決まりを守って、健康で安全な学校生活を送ることができましたか？ 子どもたちは、きまりを守り、健康で安全な学校生活を送ることができている。	3.58	3.42	
④ 運動会や作品展では、自分の力を精一杯出して満足することができましたか？ 学校は、運動会や学芸会等の学校行事が魅力あるものとなるよう、工夫している。 <i>運動会や学芸会等で、子どもの個性や可能性を引き出し、充実感を味わわせることができている。</i>	3.63	3.56	3.60
⑤ 何か困ったことや悩みがあるときには、すぐに先生に相談することができますか？ 学校は、子どもたちにけがの時など、困ったことや悩みがあれば、適切に対応してくれる。 <i>校内でのけがや体調不良、担任と連携した心のケア等に適切な対応がなされている。</i>	3.24	3.49	3.75
⑥ 学校は、学校だよりや学年だよりなどで、必要な情報を分かりやすく伝えている。 <i>本校の教育活動について、学校だよりやホームページ等を通して、保護者の理解が得られている。</i>		3.55	3.17

評価の平均は、全て3.0以上で、学校の取り組みは、おおむね満足できるものと捉えています。

今年度は学習や活動に関する制限が幾分緩和され、徐々にコロナ禍前のような学校生活を送ることができるようになりました。そのような中で、児童の多くは、学習や行事等に意欲的に取り組んでいました。その結果として、全ての質問で3.0を超える評価となるとともに、全ての質問で昨年度より高い評価となりました。

また、学校努力点として、道徳の授業を中心に、自分や他者の考えを知る活動や、自分や他者の考えを認める活動、そして、どんな自分になりたいかを考える活動に取り組みました。これらの活動を一年間通して取り組んできたことが、質問②のような評価となりました。

このような結果を踏まえ、2月16日(木)に実施した学校関係者評価委員会の皆様からは、次のようなご助言をいただきました。

「子どもたちを取り巻く環境は、年々変化している。タブレットやSNSなどの利用など、低学年のうちから段階的に教えていくことが必要。」

「マナーや道徳心を教えることは、教科を教えることより難しいところがあるように感じる。親として、家庭でマナーなどを教えてもなかなか身に付かない。学校、家庭が共に教えていく必要がある。」

いただいたご助言を基に、学校、家庭、地域が連携し、本校の校訓である「考える子」「やさしい子」「たくましい子」を育むことができるよう指導・支援をしていきたいと思っております。